

嬉総第159号の2
令和5年7月24日

嬉野市議会議長 辻 浩一 様

嬉野市長 村上 大祐
(公 印 省 略)

文書質問について(回答)

嬉野市議会基本条例第7条第3号の規定に基づく文書質問につき、下記により回答いたします。

記

提出者 嬉野市議会議員(議席番号1番) 水山 洋輔

(質問の事項)

駅周辺と道の駅「うれしのまるく」の整備進捗並びに利用状況と今後の運営形態について

(質問の要旨)

① 新幹線駅周辺と道の駅の整備進捗状況について伺う。

(回答)

新幹線・まちづくり課

現在、道の駅の登録範囲である、観光交流施設(まるくアイズ)、公園、緑地、手湯、足湯、ロータリー、トイレ及び駐車場については整備が完了しています。

② 当初令和2年5月11日付の嬉野市駅周辺整備事業募集要項において、Cゾーン自体の明記もなく、また令和2年8月21日日付の民間プロポーザル提案書にもホテルの計画は出てきていないが、どの段階でCゾーンにホテルの計画が上がってきたのか伺う。

(回答)

新幹線・まちづくり課

令和2年9月に民間事業者から提出された提案書の概要版をHPにも掲載しておりますが、この中で「Healthy & Stay 健康・医療をテーマとした、市民が日常的に訪れ、健康増進につながるコンテンツや、既存の旅館と共存可能な宿泊施設の導入を検討。」

という記載があり、これに基づき協議を進められ、令和3年の1月にまちづくり嬉野より提案。駅周辺全体の魅力、集客力の向上を補完する付帯的事業として積水ハウスによる宿泊施設の導入について検討した経緯があります。積水ハウスでは「Trip Base道の駅プロジェクト」事業を手掛けており道の駅構想や駅周辺整備事業との親和性が高く連携により相乗効果が期待されるとのことで、令和3年3月に嬉野温泉駅周辺整備事業に付随するホテル事業に係る嬉野市、まちづくり嬉野、積水ハウス三者の協定を締結したものです。

これまでの期間の中で、ホテル用地の検討を行い、現在の駅西口（いわゆるCゾーン）が適地と判断したところです。

- ③ 民間整備エリアAゾーン、Bゾーン、Cゾーンについて整備進捗について、12月議会の一般質問の際には、Aゾーンについてレンタカーとレストランが来春にオープン予定との答弁をいただいたが、レンタカー事業者の建物工事をされているが時期としては遅れているように思われる。またレストランについては状況が見えない。Aゾーンの整備スケジュール、見通しを伺う。

(回答)

新幹線・まちづくり課

事業計画書に基づけば少し遅れが出ているようです。レンタカー事業所においては8月中にはオープンの予定と聞いております。レストランについても既に着工しており、オープンについては10月上旬と聞いておりますが、天候の状況により変動する可能性はあるようです。

- ④ 民間事業者の事業計画書においてAゾーンについてレンタカーとレストラン以外のスペースはオープンスペースとして活用と記されているが、現状の状態を利用されるのか、または舗装等の整備をすることも計画されているのか伺う。

(回答)

新幹線・まちづくり課

あくまでも事業者が主体的に計画されておりますので、事業計画に基づき進めていかれるものと思っています。なお、舗装等の計画については存じ上げておりません。

- ⑤ 民間整備エリアの未着工部がどのように進んでいくかといったところが市民や来訪者に情報不足だと感じている。民間事業者に対して商工会や観光協会などの各種団体との協議会などの検討ができないのか。協議会等を通して市民に見える形で民間エリアの整備に取り組んでいただきたいと思うが如何か。

(回答)

新幹線・まちづくり課

商工会への説明会の中で様々な意見があったと伺っています。そこで、商工会会長や観光協会会長、JA代表理事、副市長を含め定期的に連絡会議を行い、この中で進捗状況

を含め情報共有していくと伺っております。

⑥ 道の駅の施設について、指定管理者の募集スケジュールを伺う。

(回答)

新幹線・まちづくり課

令和6年度から指定管理者制度での運営を予定しています。

指定に関するスケジュールにつきましては、今後指定管理者の募集、選定を行い本年12月議会において指定及び指定管理委託に係る予算の議案を提出する予定です。